

産科 婦人科 漢方
浮田医院
だより



第 21 号

発行所：産科 婦人科 漢方
浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

http://www.zu.biglobe.ne.jp/~ukita/

発行日：平成12年6月5日(月)

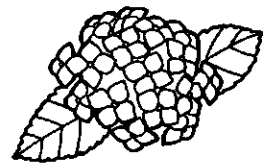
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ

舌診

II (21)



この7月17日で開院10周年を迎えることになりました。この少子化時代の中、10周年を迎えることができますのも、ひとえに皆々様の多大なるご支援の賜と、心から感謝しております。ありがとうございます。感謝の気持ちを込めて、当院でお産された方、お産予定の方に招待状をお送りしたいと思えますので、ぜひお越し下さい。

皆様方の要望に応えることのできる医院を目指して、私どもは20周年に向けて、皆様方と共に歩みたいと思えます。

よろしくお願いたします。

今月も、「舌診」のことをお話ししましょう。ご自分の舌の変化を毎日観察してみたり、他の人の舌と比べてみて下さい。食べ過ぎや胃腸の調子が悪く胃もたれのある時は、白くベタリとした苔(厚白苔)がついてきます。風邪を引いて熱が出たり、高血圧で体が暑がりの方は、黄色くベタリした

苔(黄苔)、ストレスや過労が続いたり、高齢になると、苔がほとんどなくなり、乾燥気味の苔(乾苔)に変化したり、表面に亀裂が入ったり(裂紋)してきます。冷え症で胃腸の弱い人や水を摂り過ぎていいる方は、舌の縁に歯のあと



浜大津 噴水

がつき(歯痕)、血行が悪く肩凝り、頭痛、冷え、生理痛、腰痛のある方は、舌全体が暗赤色で、紫色の斑点(瘀血)が見られます。疲れ易く、髪や肌にツヤがなく、冷え症の方は、白っぽくて赤みの少ない舌をしています。正常な舌は、きれいなピンク色で、軟らかくふっくらして、適当な湿り気を持ち、薄い白苔が均等に見られます。

12歳男性、「鼻づまり」「頭重感」で来院。血色良好。両側胸脇苦満(肋骨下の抵抗圧痛)、お腹はつつぱり、お臍の両側に抵抗圧痛、脈は浮いて力強く、舌は紅色、先が特に赤く、黄色く乾いた苔が見られました。そこで、荆芥連翹湯+辛夷+桃仁+牡丹皮+桂皮+冬瓜子+芒硝+大黃を処方しました。2週間すると、鼻が少し通りはじめましたが、4週間してもあまり変化がありませんでしたので、更に石膏を加えたところ、鼻がすっきりしてきました。

55歳女性、「舌がしみる」「咽が乾く」で来院。血色悪く、顔に薄黒褐色のシミがあちこちに見られ、心下部はやや硬く、下腹部は軟らかくて、皮膚はカサカサしていました。脈は沈細、舌は暗紅紫





色、両側辺縁に暗紫色斑(瘀血斑)を認め、舌の表面は乾いて、裂溝が多数見られました。そこで、滋陰降火湯+六味丸を処方したところ、舌のしみ方は少しづつ改善していますが、2年経た現在でも、裂紋は変化していませんから、舌そのものの改善には長い年数がかかりそうです。

38歳女性、「疲労感」で来院。顔は青白く、眼瞼ははれぼったい。心下部は軟らかく、ジャブジャブと音がし、脈は弱く沈み、舌は淡白色で、ベッタリと白い苔がついていました。そこで、六君子湯を処方したところ、疲れは次第になくなってきました。

42歳男性、「咳」「鼻水」「鼻づまり」で来院。顔色はよく、舌は淡紅色、薄白苔、脈は浮いて力強く打っていました。昨日より急に鼻水と咳が始め、今日になると、鼻水だけでなく鼻づまりも出てきました。そこで、小青竜湯+杏仁+石膏+枳実+紫蘇葉+桑白皮+桔梗を処方したところ、風邪症状は、2日で改善しました。

26歳女性、「眼精疲労」「肩凝り」「頭痛」で来院。顔色良好、目は充血、脈は浮いて力なく、舌は大きくむくみ、辺縁に歯のあとがつき、薄い白苔が見られました。

右の胸脇下に少し抵抗があり、胃の部分はジャブジャブ言い、下腹部は何となく膨らんでいました。そこで、補中益気湯+当帰芍薬散+サフラン+葛根を処方したところ、仕事でパソコンを扱っても余り疲れなくなり、目の疲労や肩凝りや頭痛に悩まされなくなってきました。

28歳女性、「母乳不足」で来院。顔色は普通、両頬はやや赤く、脈は浮いてやや力があり、舌は淡紅色、乾いた薄白苔が見られました。お腹全体軟らかく、お臍の上の部分に圧痛を認めました。そこで、蒲公英湯+葛根+麻黄+桂皮+芍薬+大棗+生姜+甘草を処方したところ、次第に母乳の量が増えてきました。

次第に蒸し暑く湿っぽくなってきます。食べ過ぎ飲み過ぎに気を付けて下さい。次回は、脈診I'です。脈について考えて見ましょう。

【院長】



更年期障害

加齢(老化)と生活環境の変化に伴い、「肝」(情緒に関係)と、「心」(意識に関係)が乱れると、月経異常、性器萎縮、のぼせ、ほてり、冷え、不眠、肩凝り、動悸を自覚したり、とり残された感じに悩むようになります。世の中の変化を認め、漢方薬で「体のひづみ」を治して下さい。子宮癌、乳癌、生活習慣病の心配な方は、検査を受け、無駄な心配をなくして下さい。



慢性肝炎

「肝」は「内臓や筋肉の血流を調節」し、睡眠時や安静時は「血液を貯蔵」しています。そして、「内臓」「情緒」「消化」「月経」を調節しています。この病気になると、このような調節に乱れが生じ、内臓の働きが異常になり、イライラして短気になり、食欲低下、月経不順になります。この乱れた「肝」の働きを元に戻し、本来の「肝」にする作用が漢方薬にはあります。



にきび

男性ホルモンと女性ホルモンの比の上昇により「皮脂分泌亢進」の結果「面皰」ができます。そして、炎症の程度により「浮腫状の丘疹」「赤い丘疹」「膿疱」となります。漢方薬を利用する場合、皮脂分泌度、丘疹の性状、化膿の有無と体質を参考にします。



当院の漢方治療



剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部“錠剤”）。携帯に便利。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組合せた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。

漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。

- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・等

エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい（高齢の方、乳幼児の方もどうぞ）。問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・・・・・・

神経照射法（スーパーライザー）

暖かい赤い光（近赤外線）で血の流れをよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用します。

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種軟膏（漢方軟膏、アトピー軟膏、痒み止め、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗生物質、抗真菌剤、保湿剤）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付剤及び軟膏、抗真菌剤、含嗽（がいそう）薬）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

入院食（手作り）

心のコもった【手作り】料理です。十分に吟味した素材を使い、塩分やカロリーに気をつけています。

従業員募集

看護婦、助産婦、看護補助婦（当直、病棟補助）の方
ご連絡下さい。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合
【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】を書き、診察券を入れて下さい。

骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、
結果は、直ぐお知らせします。

低用量ピル

従来のピルよりも副作用が減っています。正確な知識を持って頂くため、問診表を作成しました。

日本東洋医学総会（京都）

6月23日（金）午前外来は、院長がシンポジストとして講演するため、代診となります。
夕方方の診察は院長が行います。

駐車場

- ・北-駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東・南駐車場(11台)（終日駐車可能）

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	一般外来	妊婦外来 助産婦相談室	漢方外来	漢方外来	妊婦外来 助産婦相談室	一般外来	—
夕方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診察(月～土) 午前9:00～正午 午後の診察(月・水・金) 午後5:30～午後7:30

- ◇一般外来: 漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕
産科〔妊婦健診・妊娠中の方の不調〕
婦人科〔癌健診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕
- ◇漢方外来: 内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◇更年期外来: 更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕
- ◇不妊外来: 赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でお越し下さい〕
- ◇妊婦外来: 妊婦健診・妊娠中の方:(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◇助産婦相談室: 妊婦相談、乳房相談、育児相談(午前8:40～午後12:30)(日程は掲示)

前期と中期－母親教室

日時: 6月6日、8月29日、10月24日、12月12日(火)
対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
場所: 当院1階 申込方法:【申込ノート】にご予約ください。
皆様のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。ティータイム、ご期待ください。

後期－母親教室

日時: 6月13日、27日、7月4日、18日、8月8日、9月5日(火)
対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム(開院10周年記念メニュー)

“豆沙寿桃”と“バウムクーヘン(Baumkuchen)”です。“豆沙寿桃”は、桃の形をした蒸しパンで、中国では福徳円満、つまり幸福のシンボルとされ、祝いの席におかれます。“バウムクーヘン(Baumkuchen)”は木の年輪を思わせるお菓子で祝い事の饗宴では、1本丸ごと飾り台に載せて、卓上に飾ります。



骨粗鬆症

閉経をむかえる50歳位から増え始め、65歳で半数(男性は80歳で半数)の方に見られ、手首、背骨(背が低くなる、丸くなる、痛む)、太もものつけ根、腰、腕のつけ根に骨折を起しやすくなります。原因は、運動不足、カルシウム不足、タバコやお酒、閉経、妊娠(出産)などが挙げられます。生理不順の方、出産後の方、閉経の近い方、閉経後の方、当院で骨量測定をしてみてください。当院では、漢方薬、ビタミンD剤、カルシウム剤、ホルモン剤(HRT療法)、食事療法などを取り入れています。



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付ご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。

浮田医院開院10周年祝賀会

日付:平成12年度7月16日(日) 午前11時～午後2時
招待:当院でお産された方、お産予定の方(無料)
場所:今津サンプリッシュホテル「バンケットホール」

LDRベット

同じベットで、陣痛期、分娩期、回復期を過ごせます。陣痛や分娩ポジションも色々選べます。

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、【受付】にお申し出下さい。

助産婦相談室

妊娠、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。
日時:原則として、火・金曜日 午前8:40～午後12:30

赤ちゃん健診(1と2と3カ月)

1カ月健診、2カ月健診、3カ月健診をしています。
日時:毎週火曜日、午前11時～正午(有料)

第9回妊婦のための料理教室

日付:6月23日(金) 時間:午前10時～午後2時
対象:妊婦の方(無料) 献立:ミニフランス料理

保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。保険が使えなくなることがあります。